

10月1日は国勢調査



明日のため今日の日本を知る調査

十月一日には、全国いつせいに「国勢調査」が実施されます。国勢調査は、国内に住んでいるすべての人を対象として、一人ひとりもれなく調査する最も基本的な統計調査です。

わが国の国勢調査は、大正九年の第一回調査以来、全国のみならずのご協力と国勢調査員の方々のご尽力によって、世界に誇り得る立派な成果を収めております。

今回の国勢調査は第十三回目にあたりますが、今回は国連のすすめでアメリカ、イギリス、ソビエト、中国など世界各国が参加する「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環をなすものであり、国際的にも重要な意義を有するものです。みなさんの理解あるご協力をお願いします。

調査のねらい

国勢調査は、わが国に住んでいるすべての人を対象として行われる国の最も基本的な統計調査で、全国・都道府県・市区町村の人口世帯数だけでなく、男女別年齢別・産業別・職業別などの人口の構成や世帯の構成を明らかにして、国の政治や行政はもちろん、都道府県および市区町村の地域社会に直結する行政に役立つ資料を得るために行われます。

調査の対象

調査票には、あなたの世帯に住んでいる人すべてを記入してください。世帯に三か月以上住んでいる人や住む予定の人、家族以外の人で三か月以上滞在している人や滞在する予定の人を調査の対象となります。また次の人については、十分ご注意ください。(1)旅行や出かけなどで、

一時不在の人は……

三か月以上不在の場合は旅行先や出かけ先で調査し、三か月以上にわたらない場合は自宅で調査します。(2)寄宿舎・下宿から通学している学生・生徒は……自宅ではなく、その寄宿舎や下宿で調査します。(3)病院、療養所などの入院患者は……三か月以上入院している人は入院先で調査し、三か月にならない人は自宅で調査します。

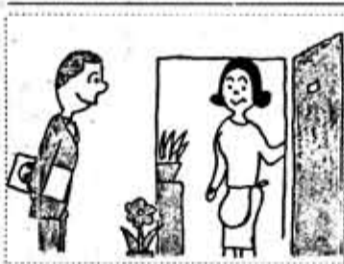
ご注意を!

この十月一日、全国いつせいに第十三回国勢調査が行われます。国勢調査は、国はもとろん都道府県・市区町村のこれからの行政の基礎となるもので、国内のすべての人が対象となります。そのため、使用する調査票は合計四千五百万枚というぼう大な数にのぼり、積みあげると富士山の二倍の高さになります。集計は「光学式マーク読取り装置(OMR)」という機械にかけて行われます。調査票の取扱いや記入について、次の点にご注意ください。

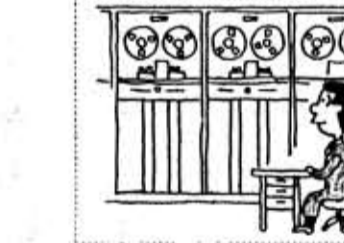
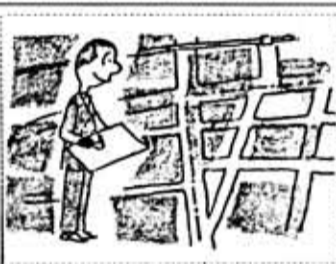
9月24日から

各家庭に調査票を配布

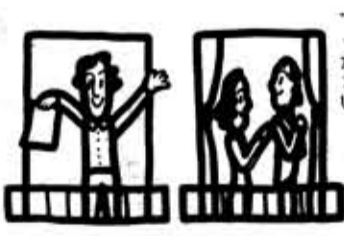
(1) 全国を約七十五万の地域に区分して、国勢調査区が設けられ、国勢調査員はこの調査区をひとつずつ受け持ちます。本市では、三百三十の地域に区分されています。



(2) 九月二十四日から三十日までの間に、調査員が各世帯へ「調査票」を配り調査票の記入を依頼しに伺います。



(4) 集められた調査票は(本市では約一万八千枚)、市から京都府を通じて、総理府統計局に送られ、直接「機械」にかけて調査結果を集計します。



(3) 十月一日から五日までの間に、もう一度、調査員が各世帯を訪問し、記入済みの調査票を集めます。

(1) 調査票の取扱いについて
①汚したり、折ったり、丸めたり、破損させたりしないでください。
②調査票に記入する際のお願
③必ず黒鉛筆で記入してください。
④答えをマークで記入する箇所は、ワクいっぱい太く、濃く、はっきりと横線を記入してください。文字や数字で答える箇所は、点線のワクからはみ出さないよう記入してください。
⑤誤って記入したときは、消しゴムできれいに消してください。

10月1日の市の人口は何人?

10月1日は、第13回国勢調査です。市では、この国勢調査人口をあてて懸賞募集を行います。要綱は次のとおりです。みなさん、どしどし応募ください。

◆ 応募要項 ◆

- ▷ 応募資格 市内在住者に限る
- ▷ 応募方法 官製はがきに国勢調査人口を記入のうえ、住所・氏名・年齢・職業(学生の方は学校名)を明記し、ご投函ください。
- ▷ 応募期限 9月30日(火)当日の消印有効

- ▷ 応募先 〒617 向日市寺戸町中野20 向日市役所 国勢調査向日市実施本部事務局
- ▷ 正解 総理府統計局発表による人口速報概数を正解とする。
- ▷ 賞品 正解者10名に記念品を進呈(正解者が10名以上の場合には抽せん。また、正解者が10名以下の場合、もしくは全く正解者がいない場合は、正解に最も近いものを含める。ただし、オーバー数値は無効)
- ▷ 発表 正解者は広報紙に掲載

懸賞

募集